



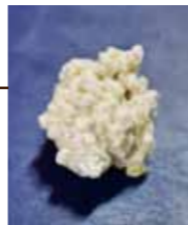
竹下 勇樹 さん (38)

まく ひと しごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.11

添田醸造合名会社 / 西本町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。

今回は、市内で唯一の醤油会社の添田醸造合名会社取材しました。



昭和10年に創業し、地域のうちに親しまれている醤油・味噌を製造する添田醸造合名会社。市内で唯一の醤油会社です。今回は、添田醸造合名会社で働く竹下勇樹さんを取材しました。大分県出身の竹下さんは、結婚後、枕崎出身の妻の実家である添田醸造合名会社で働き始めました。普段は醤油・味噌の製造や商品の箱詰め、取引先への配達・発送などを行っています。慣れ親しんだ味を求めて、市内はもちろん、近隣の加世田、川辺、顕娃などの地域や県内各地、関東・関西の枕崎出身者からも注文があります。

潮風に当たりながら船上で作業する漁師にとっては、甘い醤油が好まれました。しかし、甘い醤油造りは簡単ではありません。単純に塩分を抑えると旨味が残らず、カビが発生しやすくなつたからです。その後、試行錯誤を繰り返して、程よい塩分にたどり着くまでに5年の期間を要したそうです。そして、地元漁師の声が生んだ「さしみ醤油太陽」は、枕崎の魚屋や寿司屋、一般家庭に広がり、「枕崎の味」と成長していきました。

また、醤油だけでなく、一から手作りで造る味噌も昔ながらの味で親しまれています。蒸した麦に麹を付け、3日間発酵させ、麹の「白い花」が咲いた後(写真右上)、大豆と塩を合わせます。その後、2、3カ月寝かせ熟成させて造る味噌は、一部では枕崎の特産品「かつお味噌」の原料としても使われています。寒暖の差が激しい秋から冬は麹がよく開き、味噌造りに最も適した季節。仕込み次第で出来が大きく変わるため、一つ一つの作業に力が入ります。

食生活の変化や冷凍食品などの普及により、家庭で料理をする人が減り、醤油や味噌の需要は年々減ってきていますが、「枕崎が生んだこの味をしっかりと守っていききたい」と竹下さんは話します。



今月の担当は 幸田隊員です!



地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く!

こんにちは。地域おこし協力隊の幸田大史です。

昨年はコロナの影響で季節を感じる機会が少なかったと思います。なので今年は自分から季節感を醸し出していきたいと思います。

ウッドデッキが完成しました

昨年、広報紙で紹介しました木口屋・自然花の広場で整備が進められていたウッドデッキが完成したのでお知らせします。色々とご協力してくださった皆さん、ありがとうございます。

3月で協力隊を退任します

今月で最後の広報紙、今年の3月をもちまして地域おこし協力隊の任期を終えることになりました。広報紙見たよ、などと声を掛けていただくこともたくさんあり、活動のモチベーションにもなっていました。地域おこし協力隊として活動していた期間は、地域の皆さんに支えられ充実した3年間でした。

私は木口屋集落で、NPO法人自然花と一緒に活動することが多かったのですが、地域で活動していく中で地方の現状を肌で感じました。地方創生が叫ばれて久しいですが、実際に現場で動かないと知ることのできないことも多く、視察や研修だけでなく、その立場から地域のことを考える機会をいただけたことはとても貴重な経験でした。



ら毎日が新鮮でも楽しかったです。ふらつとやって来た見ず知らずの自分を、温かく迎えてくれた地域の方々にも助けられました。3年間というそう長くない期間でしたが、景色・食べもの・人・雰囲気などをとつても魅力的で大好きな街になりました。

これまでの活動にご協力してくださった方々、広報紙をご覧いただいた皆さん、枕崎市民の皆さん、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。またどこかでお会いしましょう!

市長

コラム

vol. 23



アートの力

昨年の12月から南浜館で開催の「スズキコージの大魔法画展」(2月14日まで)に魅せられました。あれだけの原画作品がここに枕崎で間近に観られることに感動、そしてその迫力に圧倒されました。先月のコラムでスポーツの力ということで書かせていただきましたが、アートの力、これも私たちにエネルギーを与えてくれるのだと感じさせてくれる今回のスズキコージさんの作品たちでした。

昨年から新型コロナウイルス感染拡大の影響で本市の文化活動にも制約が生じ、総合文化祭をはじめとしたさまざまなイベントが縮小や中止を余儀なくされました。そのような発表の場が制限された中でも、皆さんはそれぞれにご自身で工夫しながら、文化芸術に親しむことをされたのではないのでしょうか。絵画や音楽を自分でやったり、観賞したり、そのほか、書道、華道、茶道、日本古来の「道」に通じる芸術文化活動など、「おうち時間」が増えて自分と向き合う時間が増えて、むしろ充実したという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は絵を描くことが好きで以前はよく絵を描いていたのですが、今回のコロナ禍で「おうち時間」が増えて、絵でも描こうかと少し画材を購入したのですが、なかなか取り掛かるところまではいきませんでした。あまり構えてもいけませんね。その代わりというわけではありませんが、自宅で映画を鑑賞する時間が増えました。思いつくままに、興味の湧いた映画作品を鑑賞して、いろんな刺激をもらうことができました。

首都圏、近畿圏ほか全国各地で緊急事態宣言が発令されるなど、コロナの影響が続いており、暮らしにもさまざまな制約があります。スポーツやアートなど、ゆったり観たり、生活にメリハリをつけていききたいものです。

南浜館の臨時休館について

機構改革に伴う南浜館事務室改修工事のため、下記の期間、臨時休館します。ご了承ください。

●臨時休館期間 2月15日(月)～5月1日(土)



スズキコージの大魔法画展

奇想天外な発想、ダイナミックな描写、強烈な極彩色による生命力みなぎる作品を描き続ける絵本作家スズキコージ。本展では『ドームがたり』、『そもそもオリンピック』(ともに文 アーサー・ピナード)から、『エンソくんきしゃにのる』など代表作の絵本原画や、「ライブ・ペイント」から生まれた巨大キャンバス絵、遊び心あふれる立体作品を加え、スズキコージの芸術が一堂に会します。

●ライブペイント+トークショーの様子(1月10日)



●会期 12月13日(日)～2月14日(日)
●会場 南浜館 ●観覧料 無料

南浜館 イベント情報

- 開 9:00～17:00 ※入館は16:30まで
- 休 毎週月曜日 ※月曜日が祝祭日の場合は翌日
- 問 TEL72-9998